

 わたり

議会だより

平成28年11月1日

133号

2016



9月
定例会

10月
臨時会

平成27年度決算 総額334億円を認定 — ②

さざんか号10月より有償運行(9月定例会) — ⑧

町政のここが聞きたい〈一般質問〉 — ⑪

平成27年度 各種会計決算

総額334億円



決算認定までの流れ

本会議
会計管理者・上下水道課長が概要を説明。

決算説明
決算審査意見書報告
監査委員が決算を審査してまとめて意見・指摘事項等を報告。

議員の総括質疑
11会計を総括した質疑。

特別委員会の設置
詳細な審査のため特別委員会を設置し付託。

特別委員会
書類審査を3日間、現地調査を1日行う。

本会議
特別委員会委員長報告
委員長が審査の結果と意見を報告。

討論・採決

決算認定

第5回巨理町議会9月定例会を9月1日から9月16日までの16日間の会期で開き、平成28年度一般会計補正予算など、27議案を審議しました。

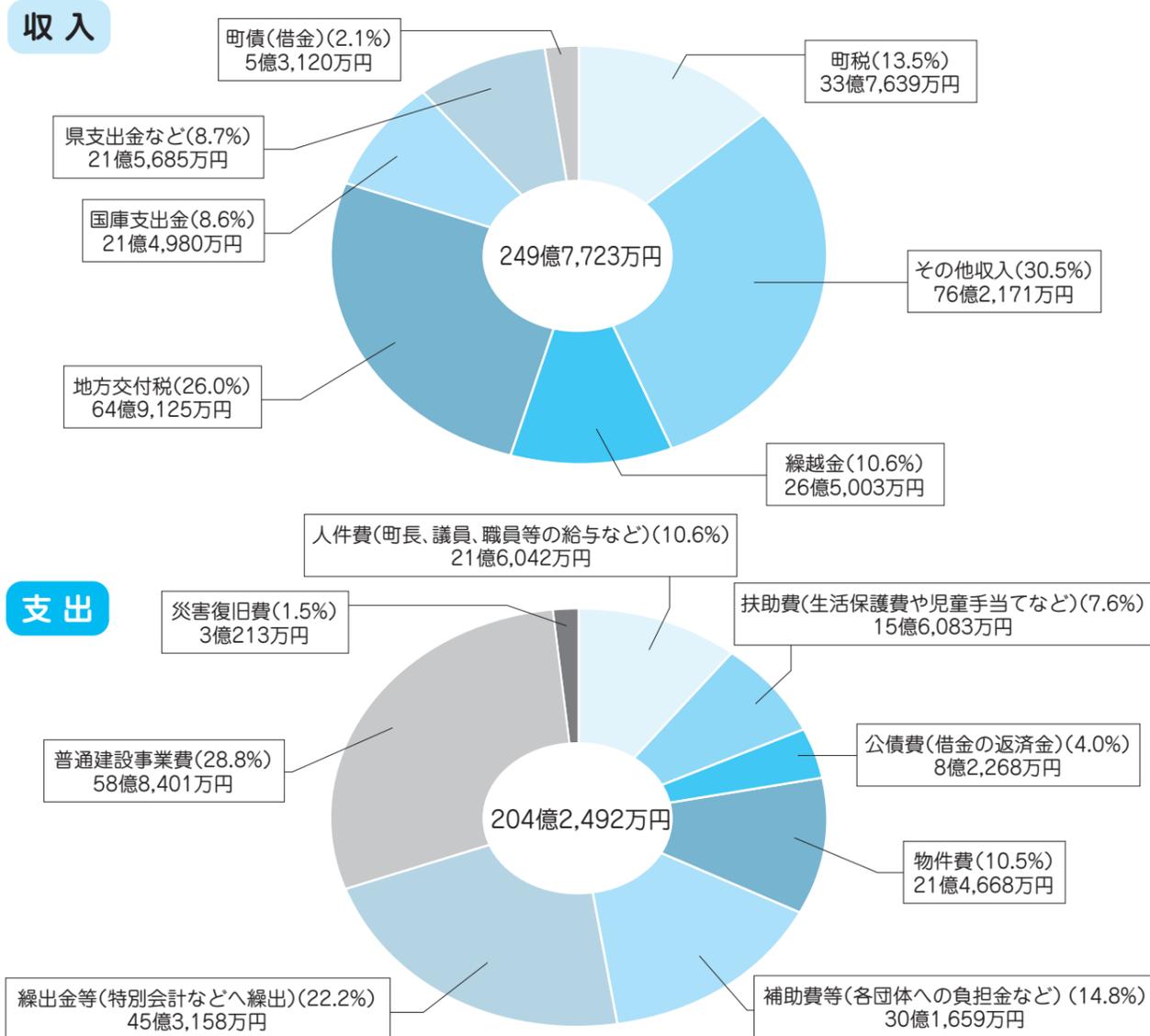
また9月定例会では、決算審査特別委員会を設置し、平成27年度一般会計決算など11件の決算を4日間かけて審査し認定しました。

平成27年度会計別決算額表

(単位：万円)

会計名	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	2,497,723	2,042,492	455,231
特別会計			
国民健康保険	504,778	490,433	14,345
奨学資金貸付	1,378	1,370	8
公共下水道事業	264,535	250,505	14,030
土地取得	509	506	3
介護保険	282,912	278,802	4,110
介護認定審査会	561	561	0
わたり温泉鳥の海	11,447	11,433	14
後期高齢者医療	31,332	31,316	16
工業用地等造成事業	108,231	105,401	2,830
企業会計			
水道事業			
・収益的収支	98,213	82,682	15,531
・資本的収支	18,892	44,989	▲ 26,097

平成27年度 一般会計決算額



代表監査委員
澤井俊一氏

審査意見書

平成27年度の一般会計並びに特別会計決算審査については、いずれも関係法令に基づいて作成され、計数等も諸帳簿と正確に符合しており、予算の執行及び事務処理についても有効、適正、かつ効率的に執行されているものと認めました。

一般会計の決算状況では、歳入歳出ともに前年度を下回っておりますが、依然として震災復興関連事業の影響により、決算規模が増大しております。今後においても震災からの復興が最優先課題となり、行政サービスの中心施設である役場庁舎の早期建設も含め、多額の財源を必要とすることが見込まれますが、国による財政措置は減少傾向にあり、町財政における財源確保は、厳しい状況が続くものと考えられます。引き続き、適切な収入未済額の縮減に努めるとともに、予算執行においても、常に適正性を厳守し、職員一人一人が行政コストを意識して執行を進めていくことで、より一層効果的な財政運営及び自主財源の確保に努める必要があります。

今後とも町勢の発展と、地域住民の福祉増進を図るため、震災復興計画及び第5次総合発展計画に基づき、後世に誇れる「誰もが暮らしやすい」を実現できるまちづくりの推進に積極的に尽力されるよう要望いたします。



27年度

決算審査

特別委員会



27年度の一般会計及び各種特別会計・水道事業会計の決算は、決算審査特別委員会で審議しました。

町政全般にわたり、数多くの質疑がありました。その中から、いくつかをお知らせします。

歳入

問 町税のコンビニ収納率は。

答 町税が34・5%、固定資産税が28%です。

問 住宅使用料の滞納理由と徴収対策は。

答 都市建設課 各公営住宅の滞納世帯は増加傾向にありますが、滞納理由としては主に低所得世帯が増加したと思われます。徴収は宮城県住宅供給公社に委託し、電話催告や個別訪問を行い、滞納縮減に努めています。

問 B&G海洋センタープールの使用料が年々減少しているが、利用実績と団体割引はどのようになっているのか。

答 生涯学習課 団体利用の例として、町主催の事業や小学校の体験学習、消防署の訓練等の利用が挙げられ、使用料は免除されます。

総務企画

問 エフエム仙台に委託した広報事業の効果は。

答 企画財政課 放送エリアが町内のみでなく県内全域と隣県ということでも、観光客をターゲットとして放送委託をしました。エフエム仙台の番組を聞いて巨理町を知ったということなどで、町外からたくさんの方の感想も聞くことができました。

問 公共ゾーン地質調査の結果は。

答 企画財政課 公共ゾーン内の開発をするためのボーリング調査を2カ所ほど実施しています。調整池と今後の工事に関わる地質の深層の状況を見て、今後の工事に影響ない調査結果でした。

総括質疑

小野一雄議員

災害危険区域内の移転者支援事業について
問 災害危険区域内から移転して自宅を購入・建設した世帯数と実績割合は。

答 被災者支援課長 災害危険区域内移転者支援事業により移転して住宅を購入・建設した世帯数及び当初計画に対する割合は荒浜地区では計画222世帯に対し、実績は200世帯、割合は90・1%。吉田地区では計画169世帯に対し、実績は149世帯、割合は88・2%となります。

問 住宅建設・購入費に対する補助金と移転費用に係る補助金の総額は。

答 被災者支援課長 平成24年度の制度開始時から27年度決算までの合計では、住宅建設購入分として10億9150万2千円、移転費用として1億2744万円となります。

鈴木高行議員

復興事業の事業費と今後の支出について

問 復興事業はこの5年間多額な費用で実施してきたが、今後5年間の事業を復興交付金で賄えるのか。また、不足する場合は一般会計からの持ち出しはいくらか。公共ゾーン施設整備、鳥の海公園等併せての今後の支出と財源は。

答 企画財政課長 平成27年度まで6年間で1636億円を支出しました。今後5年間の見通しは事業費として293億円を見込み、その中に公共ゾーンの役場庁舎、保健福祉センター整備42億円も含んでいます。財源内訳は、国・県支出金177億円、地方債10億円、基金19億円、一般財源50億円、交付税37億円です。

町長 鳥の海公園の事業は野球場、陸上競技場、パークゴルフ場等多目的広場で、17億7千万円を見込み、平成30年度完成を予定しています。

問 地域特性を生かした複合型創生プロジェクトの具体的な活動は。

答 企画財政課 町内事業者に対する商品開発、販路、PRに関する支援とショッピングサイト「みんなの巨理」の構築と運営です。

問 6次産業化として商品化したものはあるのか。

答 企画財政課 実際に6次化に至った実績はありませんでした。販路拡大に向けた商品パッケージのデザインなどの相談が主な内容でした。6次産業化は長期的な取り組みであり、今回の地方創生がそのきっかけとなりましたので、講師等も招きながら、6次産業化を確実にものにしていきたいと思えます。

主な使い道

- 震災復興番組放送事業委託料 (エフエム仙台) 2,800万円
- 地域特性を生かした複合型創生プロジェクト 1,700万円
- 公共ゾーン整備事業 1,500万円



解体が進む公共ゾーン仮設住宅

佐藤正司議員

国保会計収入未済額について

問 国保会計収入未済額の要因と縮減の対策は。

答 税務課長 国保税は前年所得に対して保険料が算定されるため、課税年度において前年所得より減少した場合や、社会保険から国保への加入手続きの遅れによる遡及課税等、さまざまな要因が考えられます。

未納者には法令に基づいて督促状や催告書を送付し、一括納付が困難な場合は、納税相談を行う旨も通知していますが、それでも納付や相談のない場合は、国税徴収法に基づき預金等の財産調査後、差押予告書を送付し、指定期日まで納付がない場合は預金等の差押えなどの滞納処分を行います。今後も滞納者に寄り添った納税相談に取り組みながら、収入未済額の縮減に努めていきます。

保健福祉

問 被災者生活支援事業内容は。

福祉課 被災者支援のために社会福祉協議会へ委託している事業で、災害公営住宅入居者世帯等へ、復興支援コーディネートター13人と見守り訪問活動員の生活支援相談

主な使い道

- 地域コミュニティ活動を活用した被災者生活支援事業委託料 2,500万円
- 敬老式典経費 990万円
- 単位老人クラブ活動等社会活動促進事業費補助金 120万円

員6人で、新天地の生活がスムーズに行われるように日常訪問活動の中で生活状況や体調確認等を行いながら、サロンを立ち上げて、住民同士の交流や生活課題等の情報収集を行いました。

問 敬老式典の対象人数と出席率は。

福祉課 77歳・88歳・99歳以上の節目の方を招待し、対象者は579人で272人の方が出席されています。46・98%の出席率となっています。

問 防災集団移転や災害公営住宅の高齢者の老人クラブ加入についての考え方と現在のクラブ数は。

福祉課 被災後に新天地の老人クラブに加入するか、元の地区老人クラブに加入するか、加入者の意思にお任せしていますが、重複加入は遠慮いただいています。

平成27年度の老人クラブ数は34クラブで1400人となっています。



高齢者の憩いのひととき

生活環境

問 町道の除草等の委託は。

都市建設課 主要な道路は業者に委託をして、年1〜2回ほど路線ごとに処理しています。その他の町道は交差点等、交通上支障がある部分を町が直接行っており、農地に接している部分は隣接農

主な使い道

- 道路維持経費 4,090万円
- 道路台帳更新業務委託料 1,910万円
- 公営住宅等長寿命化計画改正業務委託料 310万円

地の方々の協力を得て除草作業を行っています。

問 道路台帳更新業務委託の内容は。

また、全ての町道を網羅しているのか。

都市建設課 昨年度、GIS（※）を導入し、道路台帳に町内全域が入っており、パソコンで見れる状況です。航空写真は通常3年に1度撮影し、公共物や地下埋設物（水道管・下水道管）もわかるようなシステムになっています。

問 巨理町公営住宅等長寿命化計画改正業務は、今までの計画を見直すものか。新たなものを何か造る業務か。

都市建設課 この計画は5カ年計画となっており、平成27年度で前期分が終了します。既存の町営住宅と災害公営住宅も含めた長寿命化計画を作成しています。

問 水道事業の純利益は27年度は1億3900万円、26年度は1億7300万計上されていたが、



草刈りで見通しスッキリ

下がった理由は。上下水道課 26年度は災害公営住宅等の加入金収入の増加によるもので、27年度はそれが無くなり、利益が落ちているものです。

※GIS 地理情報システムの略称。行政界、標高、水道管等地下埋設物の位置などの様々な地理的な情報を正確にパソコン上に取り込んだ台帳（図面）で、毎年更新し最新情報を得るシステム。航空写真に切替えて閲覧もできる。

農政商工労働

問 27年度の巨理町における就労環境状況は。

商工観光課 町内で多くの雇用を抱える企業においても就労環境はまだまだ厳しい状況にあり、募集をかけても職種によっては応募が少ないのが現状です。

主な使い道

- 中小企業活動再開支援事業補助金 1,200万円
- 地方創生（農林水産分野）連携事業費 180万円
- 排水機場管理委託料 730万円

問 中小企業活動再開支援事業補助金の補助件数が減少している理由は。

商工観光課 徐々に中小企業者の方々の施設復旧が進んでいるのが主な理由です。

問 五日町、中町、上町の商店街の空洞化を防止しない状況になっているが、27年度の商工会育成事業にどのように取り組んだのか。

商工観光課 空き店舗等活用事業補助金を一事業者に支出したほか、商工会を実施主体としたプレミアム商品券の発行事業を行い、町内の活性化を図りました。

問 地方創生連携事業におけるブランド力強化による産地化を目指す取り組みは。

農林水産課 この事業は宮崎県日南市、静岡県磐田市、巨理町の3市町が連携して行う事業になっています。今後、首都圏からの新規就農者の呼び込みや、産地の特産物を生かしたブランド化によ



修繕完了した排水機場

る就農人口の増加を目指したものとされており、併せてブランドを維持するための技術の伝承や各産地の特色を生かしたPRの手法についてアクションプランをまとめました。

問 排水機場全体の設置完成時期は。

農林水産課 荒浜2カ所と吉田3カ所の排水機場のうち、4カ所が完成しています。残る荒浜第一排水機場は現在、柴島地区のかんがい排水事業の中で整備を進めており、平成29年度の前半頃に全ての排水機場のポンプが完成する予定となっています。

教育文化

問 27年度から指導主事が配置され、巨理町の子供の学力向上について話し合われたと思うが、どのような意見が出されたのか。

学務課 県や全国の学力平均を若干下回っていることから、家庭学習に力

主な使い道

- 小学校教育振興事業 5,820万円
- 図書館・郷土資料館事業 8,500万円
- わたり復興マラソン大会関係業務委託料 800万円

を入れるよう、本年度は家庭学習の手引きを作成する予定です。

問 マラソン大会の参加者を1500人に制限した理由は。

生涯学習課 駐車場の確保が難しく、警察署と協議の結果です。

問 学校給食センターのボイラーの修理・修繕費は、4700万円の予算額に対して2800万円の決算額となっているがなぜなのか。また、何年ごとに必要な工事なのか。

都市建設課 当初、液化石油ガスのバルク（大型タンク）で見込んでいたが、使用量を精査した結果、一般用のガスボンベに切り替えたために減額しました。

ボイラー交換時期は機械の耐用年数によりますが、概ね10〜15年程度が目安となります。

問 町内小学生の図書館の登録人数は、昨年度より100人以上減少し、利用者数も1日平均の貸



読書の秋 お待ちしています

一般会計 補正予算

インバウンド集客・強化事業などに 1億9,450万円を追加し 総額192億2,073万円に

※インバウンド
外国人旅行者の自
国への誘致。

問 インバウンド集客
インバウンド(※)向け滞在コンテンツ充実・強化事業で、どのように訪日外国人旅行者の取り込みを図るのか。
商工観光課長 この事業は東北観光復興対策交付金事業を活用したものでなっています。主なメニューとして、地域観光を取りまとめる団体をつくることに向けた調査、団体形成に向けた専門家を招いての研修会と人材育成、インバウンド向けの観光プロモーション、滞在コンテンツの充実強化となっています。
本町としては、観光資源の開発や磨き上げ、情報発信に重点をおいて取り組んでいきます。



今が旬 巨理名物「元祖はらこめし」。

問 「はらこめしの日」を記念日登録することによるメリットは。
商工観光課長 10月8日を「はらこめしの日」として、一般社団法人日本記念日協会に登録します。この組織に登録することにより、ホームページ等で全国に向けアピールしていただきます。10月8日は「はらこめしの日」として、全国的に普及されることを期待しています。

問 地方公共団体セキュリティ強化対策事業は。
企画財政課長 情報セキュリティ対策を講じる費用となっています。具体的にはマイナンバーの利用条件、住民情報流出防止の徹底やマイナンバー情報のインターネット接続との分離が主なものになっています。



番屋建設予定地

漁協番屋整備事業
問 漁協番屋はどこに造り、どのような利用方法を考えているのか。
農林水産課長 宮城県漁業協同組合が体験学習施設等を備えた番屋の整備を魚市場東側の鳥の海湾に面した箇所に計画しています。町では漁業や観光振興等の観点から、施設建設予定地の測量業務委託と用地整備に対する補助をします。

平成28年度9月補正予算の主な事業

- 橋梁新設改良事業 6,800万円
- 被災地域交流拠点施設整備事業補助金 2,500万円
- 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金 1,400万円
- 小学校施設整備事業 1,200万円

条例改正 さざんか号 10月より有償運行 高校生まで半額料金に



大人200円 小中高生100円になります

提案理由 被災者支援のため、東日本大震災以降に暫定路線で無償運行していた町民乗合自動車さざんか号について、震災前の運行形態とするための条例改正です
(全員賛成で可決)

企画財政課長 震災以前より高須賀線の主な利用は荒浜小学校への通学でしたが、現在はスクールバスを運行しているため、今回は除いていません。今後のニーズ等を含めて条例改正等も検討していきます。

工事請負契約
逢限・吉田地区 防災広場整備
工事名 平成28年度逢限地区防災広場整備工事(復交)
工事場所 逢限田沢字早川地内
請負金額 1億6308万円
請負業者 斎藤工務店・小野工務店・永井組復興JV



完成間近の防災公園(吉田東部)

工事名 平成28年度吉田地区防災広場整備工事(復交)
工事場所 吉田字下大畑地内
請負金額 1億1340万円
請負業者 千石建設・宮城林産・木村建設復興JV
(全員賛成で可決)

物品購入契約
小型ポンプ積載車
事業名 平成28年度巨理町小型ポンプ積載車購入事業
契約金額 2272万3200円
契約業者 日本防災工業(株)仙台営業所
(全員賛成で可決)

人事案件に同意
教育委員会教育長・委員
岩城 敏夫 氏 (神宮寺区)
教育委員会教育長に
を選任することに同意しました。
佐藤 正行 氏 (森房区)
教育委員会委員に
を再任することに同意しました。

一般質問

町政の「川」が聞きたい

「一般質問」は町長に対し、将来に向けての考えなどを

ただ質すものです。

鈴木邦昭議員 12P

- ・助成金を活用しランデブーポイントを整備しては
・ため池に対する安全対策は

佐藤アヤ議員 13P

- ・教育環境整備の具体的な考えは
・子どもの読書を推進する取り組みについて

佐藤邦彦議員 14P

- ・米の生産調整廃止、農家経営対策は
・荒浜・吉田東部地区の定住促進策は

大槻和弘議員 15P

- ・住民要望の実現は
・震災を受けての耐震化は
・被災者の医療費等の免除再開は

高野 進議員 16P

- ・消防団員確保対策は
・田んぼアートに取り組んでは

小野一雄議員 17P

- ・コンパクトな行政区の編成を
・各学校に植樹祭への参加呼びかけを
・各地区体育館の整備は

木村 満議員 18P

- ・子供の貧困問題の対策は
・被災地域の医療体制は

高野孝一議員 19P

- ・巨理葬祭場の改修について
・一般質問の進捗状況について

鈴木高行議員 20P

- ・障がい者 雇用・就労の支援策は
・荒浜旧市街地の再興は

平成28年9月 第5回定例会 議案等の審議結果

○：賛成 ×：反対 議：議長 欠：欠席 退：退席 除：除斥 無記名投票：無記名投票 ※議長は採決に加わりません。

Table with columns for 議案番号, 件名, 議決月日, 出席者数, 賛成数, 反対数, 議長, and 議員名 (議席番号順) 1-18. Rows include various municipal resolutions and budget items.



問 第5次総合発展計画の中に「老朽化の度合いにより優先順位を付け、校舎、体育館の整備に努める」とあるが、今後どの順番で整備するのか。
教育長 巨理小学校は先に校舎建設用地を取得しており、建設計画を早急に立てる必要がありますが、具体的な順番は決まっています。
問 トイレの改修は進んでいないように思うが。
教育長 毎年予算化し、洋式化を進めています。



建設に向けた第一歩

教育環境整備の具体的な考えは

巨理小は校舎建設用地を取得している

子どもの読書を推進する取り組みについて

読書推進会議の中で目標や進捗を確認

問 子どもたちがよい本に出会い、自主的に読書が続けることができるよう「巨理町子ども読書推進計画」が策定されたが、具体的な取り組みは。
教育長 子ども読書推進会議の中で目標設定や推進状況の確認を行い、町のホームページでPRし、小中学校や交流センター等で希望者に計画書を配布しています。
問 小学校入学時に町立図書館利用カードが受取できるように在学証明書を発行しては。
教育長 在学証明書は個人情報に記載されているものもあり、校長会では在学証明書の発行についていかなるものかという声がほとんどでした。
問 自分の読んだ本が記録できる「読書通帳」を導入しては。
教育長 本年一月より「読書通帳」を作成し、図書館のカウンターに置き皆様に提供しています。



再質問 通帳がいつぱいになったら何かプレゼントをしては。
教育長 子どもが読書に意欲的になれば大変結構なことですので検討します。
問 小学校6校のうち4校には図書室専任の職員が配置されている。今後、全小学校に配置する考えは。
教育長 現在配置している図書室支援員は子どもたちの読書意欲を喚起するよう、いろいろな手だてを講じており、大きな役割を果たしています。今後、配置されていない吉田小、高屋小についても検討していきます。



助成金を活用しランデブーポイントを整備しては必要な場合活用する

問 本町ではドクターヘリが着陸し、救急車と合流するランデブーポイントを何カ所予定しているか。
町長 公共用地7カ所（阿武隈川河川敷グラウンド、阿武隈川公園野球場、都市公園野球場、逢隈中学校、吉田中学校、荒浜中学校、巨理中学校）の利用を承諾しています。
問 ランデブーポイントの改良工事を行う際、県では1カ所当たり500万円を上限に助成するとなっている。
 また、ランデブーポイント設置場所に、看板の設置を1カ所当たり50万円を上限に助成するとなっているが、本町でも



搬送訓練中のドクターヘリ

この助成金を活用して整備を進めては。
町長 新しい候補地が見つかり、改良工事が必要な場合は活用していきたいと思えます。現在、現地に表示板を設置することとは考えていません。助成金活用は大変結構だと思います。また金額的にもそれで足りるかどう

か、その辺の検討も必要と思えます。

※ランデブーポイント
ドクターヘリと救急車との合流地点で「場外離着陸場」のこと。

ため池に対する安全対策は 計画的に安全施設の施工を進める

問 本町では農業用水ため池は何カ所あるか。ため池に対する安全対策は。
町長 町が所有する農業用水ため池は18カ所あります。安全対策については、農業用水ため池での遊戯を禁止、用水かんがい期には防災無線等で注意喚起し、注意看板等も設置しており、維持管理上で安全を確保するために転落防止柵等も設置しています。今後も転落防止柵が未設置となっているため池は、計画的に安全施設の施工を進めます。
問 現在のため池は、ほとんどのため池が一般的に張りブロックが多く使用されている。今後、整備する際は、転落しても脱出可能な防災ブロックで整備する考えは。
町長 今後の整備におきましては経済性だけでなく維持管理、防災面を総合的に判断し、護岸の種類を検討していく必要があると考えています。



大槻和弘議員

震災を受けての耐震化は 助成事業の利用促進周知を図りたい

問 巨理町耐震改修促進計画の耐震化率の目標は、平成32年度末で住宅が95%、町有建物が100%だが、具体化と実績は。

町長 現在の住宅の耐震化率は75%となっております。例年、耐震改修工事助成事業は申請件数が3件程度となっております。少ない要因として、耐震診断は個人負担が8300円と小さいものの、平均工費が約200万円となっており、助成上限が55万円と個人負担が大きいと推測されます。町所有建物の耐震化は平成32年末までに完了させたいと考えています。

問 町の住宅耐震診断・耐震改修工事の補助事業実績が少ないが、促進は。また、耐震シエルト・防災ベッド設置補助金制度を導入しては。

町長 町のホームページと広報紙で周知するほか、各行政区への回覧等

被災者の医療費等の免除再開は 広域連合等の動向で判断

問 東日本大震災の被災者医療費一部負担金などの免除措置を再開しては。

町長 後期高齢者医療制度を管轄する宮城県後期

高年齢者医療広域連合がどのような判断を下すのか、また継続して実施している沿岸部市町村や近隣市町村の動向も踏まえた上で判断していきます。



耐震化はお済みですか

も行っています。さらに各行政区の総会でも周知し、事業促進を図ります。耐震シエルト等については、第一に住宅耐震診断・耐震改修と考えます。

再質問 利用促進のため、耐震工事の補助率を引き上げては。

町長 財政的な面もあり慎重に検討します。

住民要望の実現は

要望の実施予定時期等明示したい

問 震災後、各区長を通じての住民要望の再開に伴う要望数と事業化数は。

町長 27年度は全行政区で252件の要望があり、完成・着手済み等、現時点で33%の進捗となっております。今年度は全行政区で207件の要望があります。回答に時間を要するものは実施予定時期も含め今後お知らせします。

問 要望が通りづらいとの声を聞くが、回答は丁寧な説明をすべきでは。

町長 必要性・緊急性・安全性を考慮し、限られた財源で行っています。緊急のものや、簡易的なものは各行政区長の相談を各課窓口で随時受け付けし、丁寧に対応していきます。

再質問 町民と町長との懇談の場等の設置は。

町長 震災前には「町長と語る日」を設けました。今後検討していきます。

米の生産調整廃止、農家経営対策は

国・県の各種事業を活用し支援

問 経営所得安定対策及び水田フル活用米政策の見直しについては、米農家の所得減少から農業経営に大きな影響が懸念される。町の対応、対策をどのように考えているのか。

町長 農家の所得減少の主な要因は、直接支払交付金7500円の廃止と生産調整廃止による過剰作付けから米価下落が考えられます。制度内容については農家の方々に情報を発信していくとともに、JAなど農業関係機関と連携し、地域特性を考慮しながら国・県の各種事業を活用し、より有利な転作作物の支援を行います。

問 農地の有効活用と経営の効率化のため、担い手への農地集積や耕作放棄地



佐藤邦彦議員



巨理米ひとめぼれの収穫

の解消、後継者の育成、集落営農や法人化が急務となる。どのように推進していくのか。

町長 農業後継者の確保や育成は、後継者組織である「巨理町4Hクラブ」への支援と、新たな就業金事業」を活用できる環境整備に努めています。さらには吉田東部地区で畑地の担い手確保対策として、農業生産法人を誘致しています。また、耕作放棄地の解消については、大区画ほ場整備による担い手への集積を図っており、今後も意欲的な集落や担い手に対し、機械の共同利用や組織化・法人化を推進します。

荒浜・吉田東部地区の定住促進策は

多面的な住宅施策の支援を検討



待たれる定住化施策

問 被災地区の定住化を促進するため、住環境の整備や移住誘導策、支援策をどのように講じていくのか。

町長 被災地区の定住化促進は最重要と考えています。各地区の骨格道路である避難道路は早期完成を進めており、また、移住誘導策はイベント等の新たな人の流れを移住・定住促進へつなぐとともに、持ち家取得・新規の定住者支援や民間の住宅建設誘導等、多面的な住宅施策の支援を検討します。

再質問 被災住宅用地を宅地バンクとして、土地の流動化を促進しては。

企画財政課長 現在、国土交通省で宅地バンクの制度化について精査していますので、その結果を踏まえて検討します。

コンパクトな行政区の編成を

区からの要望と人口変動を注視



小野 一雄 議員

問 大幅な世帯数を超える行政区が発生している。コンパクトな行政区を創るべきでないか。

町長 行政区からの要望や人口変動を注視しながら、柔軟な対応を図っていきます。



新たな行政区のあり方は…

再質問 行政区の適正な世帯数は、**企画財政課長** 規則の中で、「1000から1500世帯を最低の基準とし、最大世帯数を400世帯程度とし、これを超える場合は分区的方向で検討する」とされています。

各学校に植樹祭への参加呼びかけを

町内全小学校へ参加募集

問 町内の植樹事業の現状は。

町長 海岸防災林は、国の直轄災害復旧事業で復旧しています。盛り土工事は全体の75%が完了し、植樹は国有林が38%、町有林が14%の進捗です。国有林は本年度より植樹開始となります。

再質問 10月の植樹祭における町の取り組みは。

町長 この植樹は町、県、イオン環境財団の3者で協定を締結し、行うものです。町は関係機関との調整、町民への参加募集や会場設営等を行います。

再質問 町内の各学校に植樹祭への参加を呼びかけ、「みどりを守る活動」を進めては。

町長 自然環境学習の場として、小中学生の参加は不可欠と考え、町内全小学校へ参加募集をしています。

各地区体育館の整備は

関係課と協議し早急に整備

問 佐藤記念体育館のアーリーナ用のネットフェンスの破損が著しい。整備すべきでないか。

教育長 年次計画を立て、早急に対応します。

再質問 吉田体育館の駐車場に水たまりが発生する箇所がある。整備すべきでないか。

教育長 関係課と協議し、早急に整備します。

消防団員確保対策は

協力事業所表示制度を周知、団員確保に努める



高野 進 議員

問 消防団員は人口減や高齢化で全国的に減少傾向が続いている。

本町 においても、震災前の501人から平成28年8月1日現在で398人と減少し、消防団員確保は急務である。確保対策をどう講じてきたか。

町長 団員数の減少と地域防災力の低下は懸念されています。

本町 においては、「巨理町消防団協力事業所表示制度」を周知し、町内外の民間企業にも消防団活動にご協力をいただき、被雇用者でも入団・活動しやすい環境づくりを進めてきています。

現在、22事業所の登録があり、今後も多くの事業所と協力的体制を構築



皆さんの入隊をお待ちしています

し、団員の確保に努めていきます。

問 町の工場の一般競争入札の際、地域貢献実績として評価点数を加算する考えは。

企画財政課長 国・県で入札の際、地元貢献の証

として公印を押印しています。

田んぼアートに取り組んでは

観光資源として検討

問 本町への交流人口の増加を目指す上で観光資源の開発が重要である。悠里館からの眺望を活かした田んぼアートの作成に取り組んでは。

町長 田んぼアートは青森県田舎館村のまちおこし事業の一環として始まり、国内では100以上の個人・団体の事例があります。さらに、全国田んぼアートサミットまで開催されるなど観光資源としての実績もあります。

悠里館 から眺めた場合、本町でも田んぼアートを作成できる条件は整っていると思います。田んぼの地権者等との調整や制作に係る費用、管理などの課題もあります。今後、観光資源として活用できるか検討していきます。



巨理葬祭場の改修について

延命か新築か検討中

子供の貧困問題の対策は

関係機関と連携を図る

問 巨理葬祭場は建設から40数年が経過し、老朽化している。今後どのように計画的に整備していくのか。

町長 この施設は昭和50年3月の竣工で毎年補修により設備を維持している状況です。管理運営する巨理地区行政事務組合では今年6月から巨理・山元両町の担当部局の職員を交え、葬祭場整備基本方針検討会で、施設の維持・更新をどう進めるべきか検討を行っています。

問 平成28年3月に宮城県子供貧困対策計画が策定されたが、これを受けて本町ではどのような対応をとるのか。

町長 今回、宮城県の計画が策定されたことを受け、本町においては計画に沿った取り組みを行うため、現在その内容や対象について検討を行っています。子供たちが心身ともに健康で夢と希望を持って成長することができよう、今後教育委員会をはじめとする関係機関と連携を図りながら取り組んでいきます。

再質問 事業によって社会の課題解決を試みる社会起業家が活躍しやすい環境を整備しては。また、福祉分野においても



40数年が経過した巨理葬祭場

用者の利便性・それぞれに要する費用などを判断材料に検討しています。施設整備の資金は両町で負担する必要があり、大きな懸念事項であると考えています。

再質問 検討委員会ではいつ頃結論を出すのか。

町民生活課長 来年度当初までに基本方針をつくり、その後、基本計画・実施計画と進みますが、建設はいつになるかは分かりません。

商工会との連携強化が必要では。

町長 民間団体等の活用や社会起業家が活躍しやすい環境の整備、さらには他団体との連携強化についても、子供の貧困対策全体の中で検討します。

被災地域の医療体制は

交通弱者への支援が課題



現地再開した歯科医院

問 医療機関が近くになく不安に感じている町民もいるかと思うが、今後どのような地域医療体制を構築するのか。

町長 医師会の先生方との連携を密にするとともに近隣市町の医療機関とも引き続き連携協力しながら地域医療を推進していきたいと考えています。

再質問 内科系の診療所を誘致しては。

町長 診療所の設置、医師の誘致費用など相当高額なお金が必要だと思います。現在かかりつけ医となつている診療所への足の確保、いわゆる交通弱者の方々への支援として、町民乗合自動車の運行経路を検討するなどの支援が一番の課題と考えています。

一般質問の進捗状況について

改めて質問をいただきたい

問 一般質問は、執行部に対して説明や所信を正していくものである。その中で「前向きに検討する」「今後検討する」等の答弁がある。その後の検討内容を報告すべきではないか。

町長 それぞれの案件はすぐに検討を行います。比較的短時間で結果が出せるものはお知らせしますが、様々な要件などから時間を要するものは、どの段階でその結果が出るかが判断できないものもあります。そのようなことから改めて質問をいただき、その時点で進捗状況を説明できればと考えています。

再質問 課題への返事を出すべきではないか。

総務課長 内容によって精査し検討します。タイミング的なことを踏まえ、結果を求められれば各課でもお答えします。



障がい者 雇用・就労の支援策は 就労支援環境は厳しい状況

問 障がい者が将来自立して地域で生活することは重要である。町の障害者福祉計画の基本にある雇用・就労について、障がい者によろしく指導しているのか。

町長 就労移行支援は必要性の高い福祉サービスで、就労を希望する人に知識・能力向上を目的とする移行支援の現状把握に努め、現在2カ所の支援事業所が町内に開所しました。また、まだ充分とは言えず、障がい者支援の環境は厳しい状況にあります。



就労支援事業所

問 県の報告によると、昨年の就職者は県全体で1656件で過去最高の伸び率とある。巨理町からはなく、主に仙台市である。これは企業側の理解と行政、障がい者の努力の結果である。本町でも個別指導やハローワークと連携し、紹介を通じて、一人でも多くの就労に結びつける支援が必要ではないか。

福祉課長 障がい者の自立は重要だと思います。個々の状況を把握しながら、ケースによって行政・関係機関と連携を図り、個々に支援していきます。

荒浜旧市街地の再興は 公共施設周辺にコンパクトな街

問 荒浜の旧市街地(二丁目〜四丁目)は、震災後家屋の解体で空き宅地が目立つ。公共施設等の整備はされたが、周辺は閑散として雑草が茂っている。今後、町並みとしてどのように再興する考えか。

再質問 中心部は空洞化している。個人所有、土地の高低差、各々の考え方の相違等、課題が多すぎる。個人任せ、支援金支給の自立再建では帰還者は望めない。そこで行政が中に入り、地域の方々、所有者、地区協議会等と情報交換する機会を持たないと意見の集約はできないのでは。



閑散とした荒浜旧市街地

町長 どの時期がよいと考えています。地域の方々の話し合いは当然行うべきだと思います。予定している地域生活拠点施設が整備されることにより、ニーズ調査にある要望の多いものはある程度解消できると考えています。また、グループホームの開設についても拠点施設を運営する法人と協議し、実施したいと考えています。

議会構成の変更

10月臨時会は10月14日に開催されました。町からは土地売買契約の締結についての議案1件が提出され、慎重審議の結果、原案どおり可決しました。主な内容を紹介します。



教育福祉常任委員会

- ◎高野 進
- 小野 典子
- 安藤 美重子
- 佐藤 正司
- 大槻 和弘

議会運営委員会

- ◎高野 孝一
- 鈴木 邦昭
- 鈴木 高行
- 高野 進
- 渡邊 健一
- 佐藤 正司
- 熊田 芳子

宮城県後期高齢者医療広域連合議会議員

- 佐藤 アヤ

凡例

- ◎委員長
- 副委員長

土地売買契約

事業名	所在地	面積	契約金額	買取単価
町道橋本堀添線整備事業	吉田字道上215番の内 外14筆	5262㎡	1420万9938円	2700円/㎡
				3300円/㎡
				2700円/㎡

(全員賛成で可決)

町民のみなさまへ

去る10月2日、鞠子幸則議員(当時)が、廃棄物処理法違反の疑いで逮捕され、翌日辞職願が提出されました。

議長として、議員が逮捕されるといふ事件の重大性と本人の意思に鑑み、即日議員辞職を許可いたしました。

町民の代表たる町議会議員がこのような事件を起こし、町議会に対する町民の皆様の信頼を大きく失墜させましたことに対し、深くお詫びを申し上げます。

今後は、町議会議員が一人となり、町民の信頼回復に努め、町民福祉向上のため、全力を尽くすことをお誓いいたします。

巨理町議会議長 佐藤 實

定住化の取り組みについて 先進地 加美町・南部町・田子町を視察

総務常任委員会

総務常任委員会では、「定住化対策」が重要なテーマと考え、先進地である、宮城県加美町・青森県南部町・田子町を視察した。

加美町では、地域おこし協力隊事業や遊休地を活用した補助金付き宅地分譲事業、東京の国立音楽院を誘致し、音楽と福祉の町づくりに着手するなど特色ある施策を展開していた。

南部町では、「バーチャルビレッジ達者村」(疑似農村を通じた体験交流事業)や子育て支援として、病院窓口で支払い不要の現物給付制度、小中学校給食費の無償化、若年生活習慣病予防健診検査などの施策を展開していた。

田子町では、基幹産業である農業の6次産業化に力を入れている。しかし、後継者不足が問題となっており、定住化策として、体験住宅(お試しちよっと暮らし住宅)の提供、新規学卒者や50歳



未滿の移住者が就職して3年経過後に10万円を支給する事業、また、若者定住・移住者向け住宅に係る固定資産税の一部を助成する事業等の施策を展開していた。

本町においても人口減少、定住化対策は最大の課題であり、町独自の特徴ある事業を展開し全国にPRして、若者の定住化、都市圏からの移住、さらに交流人口の増、転入者の増につなげる必要がある。

議長交際費を公開します

議長が議会の対外的活動をするために要する経費を議長交際費といいます。各団体の総会、式典の会費が主なものです。

7月分			8月分			9月分		
No.	内容	支出金額	No.	内容	支出金額	No.	内容	支出金額
1	産業建設常任委員会先進地視察土産代(7/25~26秋田県大仙市・能代市)	11,016円	1	視察対応お茶代(8/4福島県両沼地方町村議会議長会)	1,242円	1	障がい者友情列車「ひまわり号」協賛金	5,000円
2	総務常任委員会先進地視察土産代(8/1~2青森県田子町・南部町)	11,016円	2	巨理町議会副議長実母逝去弔電代	1,404円	2	東北方面隊創隊五十六周年記念事業祝賀会食費	4,000円
3	船岡駐屯地「夕涼み会」会費	2,000円	3	巨理町議会副議長実母逝去弔慰金	5,000円	3	視察対応お茶代(9/28埼玉県小川町議会)	621円
7月分計 3件 24,032円			8月分計 4件 12,646円			9月分計 3件 9,621円		

議会を傍聴しませんか

◆ 次の定例会は

12月2日(金)~12月9日(金)の予定です。

一般質問は12月7日(水)、8日(木)を予定しています。

役場仮設庁舎2階大会議室で行われますので、お気軽にお越しください。

議員の会議等出欠状況

平成28年7月5日~平成28年9月30日

○…出席 ×…欠席 △…遅刻、早退 -…員外 傍…傍聴 弔…弔事 研…研修 公…公務

月	日	曜日	開催会議名等	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	
				鈴木高行	渡邊重益	小野一雄	佐藤邦彦	小野典子	高野進	安藤美重子	渡邊健一	高野孝一	佐藤正司	駒子幸則	大槻和弘	百井いと子	鈴木邦昭	木村満	熊田芳子	佐藤アヤ	佐藤實	
			出席回数(回)	23	24	19	24	23	18	18	22	23	25	21	23	20	22	25	23	22	19	
			会議回数(回)	23	24	19	24	23	18	18	22	23	26	21	23	20	22	25	23	22	19	
7	5	火	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	
	12	火	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	
	13	水	互理名取地区市町議会議員研修会	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	
	15	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	
	15	金	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	
	25	月	産業建設常任委員会先進地視察調査	-	視	視	視	-	-	-	視	-	-	-	-	視	視	-	-	-	-	
	26	火	産業建設常任委員会先進地視察調査	-	視	視	視	-	-	-	視	-	-	-	-	視	視	-	-	-	-	
	27	水	県町村議長会議員講座	研	-	-	-	-	-	-	研	-	-	-	-	-	-	研	研	公	-	
	28	木	県町村議長会議員講座	-	-	-	-	研	研	研	-	-	研	研	△	-	-	-	-	-	-	
	29	金	県町村議長会議員講座	-	研	研	研	-	-	-	研	-	-	-	-	研	研	-	-	-	-	
8	1	月	総務常任委員会先進地視察調査	視	-	-	-	-	-	-	-	視	-	-	-	-	-	視	視	視	-	
	2	火	総務常任委員会先進地視察調査	視	-	-	-	-	-	-	-	視	-	-	-	-	-	視	視	視	-	
	8	月	教育福祉常任委員会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
	19	金	産業建設常任委員会	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	
	22	月	宮城県町村議会議長会議員研修会	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	研	
	25	木	教育福祉常任委員会議会懇談会	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
	26	金	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	
	29	月	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	月	新庁舎建設特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	29	月	総務常任委員会	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	○	○	○	
9	1	木	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	1	木	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	
	2	金	各常任委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	6	火	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	-	○	○	×	○	-	-	○	-	○	○	○	
	6	火	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	7	水	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	8	木	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	9	金	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	12	月	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	傍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	13	火	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	傍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	14	水	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	15	木	決算審査特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	傍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	傍
	16	金	9月定例会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	30	金	議会運営委員会	○	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	○	-	○	○	○	
	30	金	議会広報常任委員会	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	

私ひとこと

「住まわせてくれたありがとう」の言葉



高倉 進さん
(一本松区)

早いというか長かった
というか震災から5年
半。

地震や津波は自然の営
み、人が立ち向かえる相
手ではないことは知って
いるが、実際に目の当た
りにすると人間は無力
だ。

私が子どもの頃、山手
に住む親戚に、「浜には
住むな」と教えられた事
がある。私の家は浜から
4 kmの所にあるが、頭の
片隅にその言葉が残って
いた。

そしてあの日、教えは
現実となった。災害は被
災者に大変な苦難を強い
る。対応に追われる町職
員や議員も同じと思う。
家族の捜索も許されず、

町民の世話に追われる姿
に頭が下がった。

私の地区にも災害公営
住宅ができ、公園には花
が咲いた。移転された方
が交流会で言われた「私
たちをこの地区に住まわ
せてくれてありがとう」
の言葉は、震災で荒れた
私達の心にも一輪の花を
咲かせた。



喜んで遊びにこられる古里づくりを



菊地 映子さん
(箱根田東区)

荒浜地区に戻ってきて
1年ほどになります。仮
設住宅での暮らしからこ
ちらへ移る時は、親し
かった人たちとまた賑や
かに生活できそうと楽し
みにしていたのですが、

地元の住民は余り戻って
きませんでした。皆、町
の中心部の住宅に移り住
んでしまったのです。高
齢者だけでなく若い方々
も交通の便が良く、商店
街や病院のある暮らしや
すい場所を選んだ訳で、
当然だと思いつつも寂
しい気持ちです。

しかし、荒浜地区にも
小中学校や保育所・児童
館が再建され、少しずつ
ではありますが子どもた
ちも戻り嬉しく思いま



す。子どもは宝、そして
希望。そのうち大人たち
を呼び寄せることを願っ
ています。

わたり温泉鳥の海も営
業を再開しているのので、
町内外の方々、特に地元
荒浜の人たちに気軽に遊
びに来てほしいと思っ
ているこの頃です。

編集後記

リオのパラリンピック
で行われた男子1500
m (T13視覚障害) で、
アルジェリアの選手がリ
オ・オリンピック男子1
500mの金メダル記録
を超えるタイムで優勝し
ました。それも、上位4
人が超えるというもので
した。多くの障害者の方
に希望を与えるの同時
に、健常者からも称賛の
声が上がりました。

議会広報常任委員会
は、昨年10月の町議会議
員選挙後、ほとんどが新
人議員で広報紙づくりを
担当してきました。新鮮
な感覚で、読みやすい紙
面づくりを目指し、町民
の皆様から「議会だよ
り」で金メダルを頂ける
よう努めてまいります。
(K・O)

議会広報常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 佐藤 正司 |
| 副委員長 | 佐藤 邦彦 |
| 委員 | 渡邊 重益 |
| | 小野 典子 |
| | 大槻 和弘 |
| | 木村 満 |

議会に関する詳しい内容は亶理町のホームページからご覧いただけます。

<http://www.town.watari.miyagi.jp/>

